

## 令和8年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	91	長野西中条校 高等学校	全 課程	普通 科
----------	----	-------------	------	------

学校教育目標
教育基本法および学校教育法に基づき、民主的・平和的国家および社会の形成者としての人格の完成をめざし有為な人材を育成する。
重点目標
1. 生徒を真ん中に置いた少人数、個別指導に努め、生徒の自立と社会性の伸長を図る。 2. 体験的・探究的学習の充実を図り、授業改善による学力の定着・向上を目指す。 3. 人権・生命を尊重し、いじめや体罰のない安心安全な学校づくりに努める。 4. 校外資源を積極的に活用し、保護者、地域から信頼される学校づくりを推進する。

道徳教育の重点目標
①仲間や他者との共同作業を通して、集団における自己の役割を理解して積極的に貢献しようとする意欲を育てる。 ②多様な価値観に接しながら、周囲に配慮し、敬意を忘れずに積極的にかかわろうとする態度を育てる。そのため地域資源を活用した探究的な学習活動を各学年で実施する。 ③地域とのかかわりを通して多様な人々と共存する社会をどのように作っていくべきかを考えさせる。④人権意識を高め他者尊重の気持ちを育てる。特にいじめについては絶対に許さないという心を育てる。⑤望ましい社会の中で、自己実現を図るために社会規範やルールモラルを尊重することの大切さに気づかせる。



学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等
1年	総合的な探究の時間「チャレンジ」を中心に、地域の方を講師とした体験学習を実践し、協働の姿勢を身につけるとともに、自己のあり方、社会との関わり方を理解させる。	「チャレンジ」において、野菜・原木シイタケの栽培・収穫、森林環境整備、西山大豆栽培、大豆加工（味噌・豆腐）等を行い、内容、考察、自己の振り返りをまとめて発表する力を育てる。	クラスの一員としての自覚をもたせる。高校生活オリエンテーション、クラスマッチの練習、虫倉山登山、人権教育講演会、性被害防止講演会、宿泊学習等の事前事後指導を通して社会性を育み自律的態度を育てる。	委員会活動、学校行事（文化祭・クラスマッチ・強歩大会・森林の日等）での体験をもとに人間関係力を高める。部活動では自律心や責任感をもって定期的に参加しようとする気持ちを育てる。
2年	将来の生活について考えることで職業観やキャリア意識をもたせる。卒業後の進路について調べることで、社会の一員となるために必要なルールやモラルを尊重する態度を育てる。	自己理解を深めるとともに、インターンシップなどの活動を通じ、自己のあり方、生き方への意識を高める。また、社会に目を向け、充実したキャリア形成のための道徳的価値への理解を深める。	沖縄修学旅行、人権教育講演会、性被害防止講演会等の事前事後指導及びクラスマッチの練習、松代大本営跡見学の活動を通して、社会性を育み自律的態度を育てる。	中条主催イベントへの協力やボランティア体験を通してコミュニケーション能力を伸ばし、他者と協働し、自己や集団を高める態度を養う。
3年	志望する進路に必要な資質を理解させ、コミュニケーション能力、社会適応性、協調性等の習得を図る中で、社会生活における連帯の意識と主体的に他者と関わるために必要な道徳的資質を養う。	進路研究、職場見学、校外進路ガイダンスを通して、自立した人間として他者に共感し、連携しながらよりよく生きるための規範意識や道徳性を養う。	進路研究を中心に、社会の中で自己実現を図るために必要な規範やモラルに係る意識を高める。学年行事や、各講演会の事前事後指導を通して、社会性を育み自律的態度を育てる。	中条主催イベントへの協力やボランティア体験を通して人間関係力や他者と協働し、自己や集団を高める態度を養う。

各教科	
国語	言語感覚を磨き、伝統や歴史に対する理解を深めながら、日本人が培ってきた道徳や人権感覚を理解させる。
地理歴史	地理的、歴史的事象に対する多様な見方への理解を深め、人間存在についての敬意や社会秩序や規範を尊重する態度を育てる。
公民	主権者教育等を通して社会を構成する一員としての自覚をもち、多様な価値を尊重しながら問題解決に向かう姿勢を養う。
数学	学習過程を通して粘り強く考える態度を養う。社会貢献のために数学的な見方考え方がどのように活用できるかを考えさせる。
理科	自然の事物・現象についての学習を通して科学的な思考と人間の社会的活動の関連性について理解させるとともに、他者の良さを理解する力を養う。
保健体育	学習過程を通して多様性を認め他者を尊重する態度を養う。現代社会における保健的な課題の解決に向けた心身を養う。
芸術	芸術的な活動の中で、他者とつながりながら課題に挑戦することで多様性と協調性について理解を深めさせる。
外国語	教材の中で民族マイノリティ、障がい者等を扱いながら弱者への共感と多様な他者に対する理解を深める。
家庭	生涯を見通して家庭や社会の営みをとらえ、さまざまな人々と協働しながら生活課題の解決をめざす力を養う。
情報	学習過程を通して、他者との関係性の中で情報社会を生きるための考え方や情報リテラシーを養う。
総合的な探究の時間	「チャレンジ」などの探究的な活動を通してルールやモラルを守りながら協働することの重要性を理解させる。



家庭・地域との連携	地域の方々を指導者とする森林整備作業体験を通して、森林の果たす役割や地域活性化に向けての取り組みを探究する。総合的な探求の時間「チャレンジ」を中心に行う地域交流、地域貢献活動や住民自治協議会の活動、地元小学校および中学校との連携活動を契機に、社会の中でよりよく生きるために必要な道徳的価値を尊重する態度を養う。
-----------	---